

2/17

先勝 火

旬のもの マーコット

ミカン科で原産地はアメリカ・フロリダです。大きさや形は温州みかんに似ていますが、皮がとて薄くて色は赤みがかっています。さわやかな香りを持ち、甘味・酸味が良く調和して風味がきわめて濃厚なミカンです。日本へは1954年（昭和29年）に種子が導入されその後、1961年（昭和36年）に穂木が導入されました。日本では露地栽培には少々気温が低いため、ビニールハウス内の温度で手をかけて栽培されています。ビタミンCが豊富で低カロリーという、うれしいフルーツです。また、袋（じょうのう）についている白い筋には、ビタミンPが多く、動脈硬化防止に効果があります。

天使のささやきの日

1978（昭和53）年のこの日、北海道幌加内町母子里で非公式ながら−41.2度という国内最低気温を記録しました。これを記念して、母子里の有志が最寒の地での暮らしや幻想の世界を体験する「天使のささやきを聴く集い」を開催しています。「天使のささやき」とは氷点下20度以下になると、空中にできる氷の結晶・ダイヤモンドダストのことです。

ツタンカーメン王墓発掘の日

1925（大正14）年、イギリスの考古学者ハワード・カーターがエジプトでツタンカーメン王のミイラを発見。純金製の棺桶とマスクなど3,000点以上の品々が埋葬されていました。発掘後に多数の関係者が謎の死を遂げていることから、ツタンカーメン王の呪いではないかという噂が立ちました。

2/18

友引 水

旬のもの 胡椒(こしょう)

コショウ科。ブドウの房のように果実がなり、未熟の時は緑色ですが熟してくると赤くなります。一般に使われる粒コショウは果実を乾燥させたものです。コショウが日本で一般に使われるようになったのは、17世紀（江戸時代）で、オランダ経由で入荷するようになってからです。現代ではコショウは和食のイメージとは繋がりませんが、江戸時代前半には“うどんの薬味”として流行しました。

嫌煙運動の日

1978（昭和53）年、東京・四谷で「嫌煙権確立をめざす人々の会」の発足集会が開催されました。「嫌煙権」という言葉を、この会の初代代表でコピーライターの中田みどりさんが提唱し、日本でも本格的な嫌煙運動がスタートしました。

エアメールの日

1911（明治44）年のこの日、初めて飛行機によって郵便物が運ばれました。インドのアラハバードで開催された博覧会のアトラクションとして実施されたもので、会場から8km離れたナイニジャンクション駅まで、イギリス人パイロットのアンリ・ペケによって約6,000通の手紙が選ばれ、空の旅をしました。